

## テーマ「人相学から見たビジネスチャンスについて」

【講師】 (有) 占いの玉手箱  
代表 竹村亜希子氏



☆☆☆☆竹村先生プロフィール☆☆☆☆

- 占いの玉手箱代表。  
スタッフは30名。占いをビジネス化し、イベント企画、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの占いコーナー、講演、執筆も多彩にこなす。
- 創立以来、多くの経営者を観てきた経験から  
”ツキの人相、チャンスをつかめる人相”  
を見極める達人となる。

「占いは信じるものではなく、使うもの。占いがよく出たらチャンス、悪く出たら注意。情報源の一つとしてうまく利用すればいい」と唱える竹村先生。出席者の中から数名の人をモデルにして、次のように講演されました。

### <鼻の観方>

- 横から見た鼻の形は、大別して図1のような3つのパターンがある。鼻の下側が鼻先に向けて上を向いているものAタイプ、水平のものBタイプ、下に向いているものCタイプである。

Aタイプの人はおだてに弱い。褒められると嬉しくなり、頼まれると断りきれない。だから、商品を売り込みたかったから、このタイプは褒めたくって頼み込むことだ。  
Cタイプの人はおだてでも無駄。褒められて喜んでも取引は別。このタイプは正確な情報(商品や事柄)を教えてあげ、自分で納得いくようにすれば取引し、頼みごともし引き受けてくれる。  
Bタイプの人AとCの間だから、場合による。

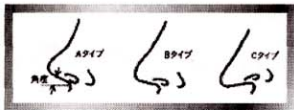


図1. 鼻の横形3パターン

- 鼻の穴の大きさは度量を表す。穴が大きい人は稼がない関係なく、やる事がデッカイ。だから、納得さえすれば大きな取引でもボンとやる。  
一方、穴の小さい人は物事に対して慎重で冒険はしない。話しを納得しても、商品を絶対買うとは限らない。
- 尚、穴が綺麗に洗ってあっても、赤黒い色とか、煤みたい汚いときは凄く経済的に困難な状況の現れ。倒産や解雇前の社長、社員によくあるので要注意である。
- さて、人相学では顔全体が社会となり、小鼻の張り具合は社会進出を表す。小鼻の張っている人は物事に対して積極性があり、縄張りを獲得する。併し、鬼のように張りすぎると戦争を仕掛ける。また、小鼻の張っていない人は伝承タイプ。技術、文化、家など他の人から受け継いで、次の時代まで守って渡す。冒険は絶対しない。
- さて、鼻筋に対して小鼻が水平だと腰痛は起こらない。もし傾いていると、下がったほうの骨盤が下がっていることになり、腰痛や足首に問題が起こってくる。
- 鼻の反りは背骨の反りを表す。上部がひどいと首・肩の張りや凝り(頸椎関係)、下部の場合は腰痛(腰椎関係)になる。
- また、胃が悪くなると中央が変色して、急性は赤色、慢性は黄土色か茶色・焦茶色となり、濃い色ほど状態が悪くなっていく。腸も同様で、位置が中央下部に表れる。但し、腸が悪くないのに変色したり、汚い色の場合は金欠病だ。